

第635回番組審議会報告  
2019年2月5日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長 今井美樹委員 砂間裕之委員  
太平信恵委員 津村記久子委員 東野博昭委員 細見良行委員

■毎日放送出席者

三村社長 梅本専務 木田常務 浜田取締役 宮田取締役  
北野アナウンサー室長 上泉企画部長 阿部チーフディレクター (MBS企画)  
高山コンプライアンス室長 菅野番組審議会事務局長

◆審議事項

テレビ番組「コトノハ図鑑」  
(2018年11月22(木)24:59~25:29放送)について意見交換した。

【番組概要】

言葉をあつかう職業のアナウンサーが言葉を掘り下げ、言葉の奥深い世界を届ける30分番組。タレントの出演はなく、毎回二人のアナウンサーがペアを組んで、あるテーマについて言葉を調査。その企画案は制作スタッフだけではなくアナウンサーからも募集する。MBS11階のアナウンサー室をスタジオがわりにして、アナウンサーが一丸となって作り上げる番組。今回のテーマは、若者ことばをはじめ、実は巷にあふれる「略語」について。

<スタジオ出演者>

武川智美アナウンサー、近藤亨アナウンサー、福島暢啓アナウンサー、  
豊崎由里絵アナウンサー

<VTR出演者>

武川智美アナウンサー、近藤亨アナウンサー

【各委員の主な意見は次の通り】

\*かつての「あどりぶランド」はじめ、アナウンサーがこれだけ前面に出て、いろいろなことに積極的なのが、他の局とは一線を画する毎日放送の特徴。アナウンサーによる番組のテーマとして「言葉」に特化するのは大正解だ。

\*キュッと中身が詰まった30分番組でとてもいい。

- \*出演者の人数もちょうどいいし、ジェンダーバランス、年齢バランスがとていい。
- \*ふだんバラエティーに出ないようなアナウンサーの個性がわかり新鮮。今回でいうと近藤亨アナウンサーが面白かった。
- \*アナウンサーの自然なトークがよかった。フリートークの力があるのに驚かされた。
- \*この番組が深夜なのはもったいない。家族で見られる時間帯にしてほしい。
- \*一度見れば続けて見てもらえる番組だと思うので、もっと番組の宣伝をするべきだ。
- \*若手ではなくベテランアナウンサーがロケに出るとするのは面白い。
- \*気になったのは、種類の違う略語を一括りにしていたところ。テーマを狭め放送回を分けて特集すれば、もっと掘り下げることが出来たと思う。
- \*「あどりぶランド」のファンだったが、この番組も毎日放送の企業イメージ向上につながると思う。
- \*ニュース仕立てでどの言葉が略語かを当てさせる「略さないニュース」のコーナーは面白かった。
- \*せっかくアナウンサー室で収録をしているので、後ろを誰かが通るといった臨場感がほしい。
- \*番組ホームページに過去の放送内容の一覧もなくわかりにくい。もう少しホームページを充実させて欲しい。
- \*教養番組としても優れている。MBSのアナウンサーの個性をアピールできるので、インターネットなどでも見られるようにすると思う。
- \*「コトノハ図鑑」は、言葉を扱う番組なので、工夫をこらして言葉を絵（映像）にしてほしい。

【番組制作者側の説明、質問への回答】

- \* 「あどりぶランド」はアナウンサーのスキルアップにつながった。今、局の顔であるアナウンサーのスキルを上げるために何ができるか、またどうすれば他局との差別化がはかれるかを考えてこの番組を立案した。
- \* 今回の企画は武川アナウンサーが息子さんから「『教科書』って略語だっ  
て知ってた？」と聞かれたことがきっかけ。
- \* ロケでのやりとりやスタジオトークには台本はなく、出演アナウンサーに  
任せている。
- \* アナウンサーの組合せには、アナウンサー室での普段の会話が参考になっ  
ているが、勤務の違いであまり話すことのないアナウンサー同士を組み合  
わせることで、職場が活性化している。

以上